

題材「どうぶつ園のじゅうい」10時間中の第7時

(1) 学習のねらい

「どうぶつ園のじゅうい」を読み、ワラビーが痛がる様子や暴れる様子を疑問にした子どもたちが、猫が注射をされて暴れる映像をみることを通して、ワラビーが暴れたらどうなるかを想像し、飼育員さんに押さえてもらいながらワラビーを治療する獣医さんの状況を思い浮かべながら「どうぶつ園のじゅうい」を読むことができる。

(2) 本時の学習材

猫が注射をされて暴れる映像

- 「どうぶつ園のじゅうい」からワラビーの段落を読んだ子どもたちは、ワラビーがどんな動物かを気にして、ワラビーが暴れる様子について疑問を持つだろう。「どのくらいワラビーは痛がるのか」、「ワラビーがどのように暴れるのか」、等のワラビーの治療に関する質問が出てきたところで学習材を提示する。
- 本学習材はネット上にある動物病院で猫が注射をされる映像である。この学習材に出会った子どもたちは、痛がる動物が激しく暴れることを知るだろう。動物が激しく暴れることを知った子どもたちは、猫より大きいワラビーではどうなるかを考え始めるだろう。ワラビーではどうなるかを考え始めた子どもたちが、ワラビーが暴れたら大変なことになると気づき、ワラビーが暴れることを警戒して飼育員さんに押さえてもらいながら治療する獣医さんの状況を思い浮かべながら、「どうぶつ園のじゅうい」を読むことができることを期待する。

(3) 学習の展開

過程	学習活動	予想される子どもの動き	時間	指導と評価
課題把握	1 ワラビーの段落を読み、考えたことをノートに記入する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ワラビーのところだけ読むの。</li> <li>・書けたよ。</li> <li>・もう発表したい。</li> <li>・何書いていいかわからない。</li> </ul>	15'	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ワラビーの段落を読み、考えたことをノートに書いておくように促す。</li> <li>・考えが書けない子どもにも目を配り、考える時間を取る。</li> <li>・ワラビーについての疑問は共有しながら、必要に応じて教師からワラビーの情報を出す。</li> <li>・疑問は本文の記述と関係させながら共有する。</li> <li>○ペットや聞いた話等、暴れる動物について発言を促し、学習材を掲示する。</li> </ul>
	展開	2 考えたことを共有し、疑問について考える。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ワラビーってどんな動物かな。</li> <li>・歯茎の治療ってどんな風だろう。</li> <li>○ワラビーが暴れるってどんな感じかな</li> </ul>	
学習課題	学習課題 なぜワラビーは病気なのに、治療に4人も必要なのか？			
	3 本時を振り返り、気付いたことや新たな疑問をノートに記入する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・動物は痛いと暴れるよ。</li> <li>○飼育員3人で抑えるくらいあばれるんだね。</li> <li>・猫でもあんなに暴れる。</li> <li>○ワラビーはもっと大きいから暴れたら大変だよ。</li> <li>・だから三人の飼育員さんが必要なんだね。</li> </ul>	5'	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">                         学習材                          猫が注射をされて暴れる映像                     </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>○改めて気付いたこと、考えたことをノートに記述するように促す。</li> </ul>
終末				評価 ノートの記述から、場面を想像して気づきが書けているかを見る

(4) 反省